

# 令和5年度第2回盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会

日時：令和6年2月1日（木）午後2時00分から

場所：盛岡市役所807・808会議室

## 次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 役員選任

4 座長挨拶

5 議 事

(1) 第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの変更点等について

資料 1-1、1-2、1-3、1-4

(2) 第1回盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会で委員よりいただいた  
意見等に対する取組状況等について

資料 2

6 そ の 他

7 閉 会

## 盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員名簿

氏 名	所属・役職等
さかもと せい いち 坂 本 誠 一	公益財団法人 岩手県国際交流協会 常務理事
はらこ たか し 原 子 崇 史	盛岡商工会議所 産業振興部 部長
はしば いく お 羽 柴 郁 夫	岩手県農業協同組合中央会 参事
すがむら さとる 菅 村 寛	岩手県情報サービス産業協会 監事
たなか かず し 田 中 一 史	株式会社北日本銀行 営業統括部 部長代理
やくしげ まき こ 役 重 眞喜子	岩手県立大学総合政策学部 准教授
なかかるまい あき ひこ 中軽米 昭 彦	一般社団法人八幡平市観光協会 事務局長
やまもと みき こ 山 本 美喜子	滝沢市商工会 女性部 部長
すがわら あや こ 菅 原 紋 子	有限会社ファーム菅久 常務取締役
きど あき こ 木 戸 章 子	宿はこや 女将
たてかわ ひろし 館 川 浩	インナーブランディング協会 代表

※任期 令和6年2月～令和8年1月（2年間）

（敬称略）

（オブザーバー）

所属・役職等	氏 名	備 考
盛岡広域振興局 特命参事兼企画推進課長	今 俊 晴	

（事務局）

職 名	氏 名	備 考
市長公室長	岡 市 和 敏	
市長公室次長	中 嶋 孝 樹	
企画調整課長	鈴 木 健 二	
企画調整課課長補佐	牧 野 英 恵	
企画調整課政策調整係長	中 村 由 希 子	
企画調整課政策調整係主査	平 澤 祐 子	
企画調整課政策調整係主任	皆 川 幸 将	
企画調整課政策調整係主任	笹 森 真 人	

## 第 2 期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの改訂等について

### 1 改訂の内容について

#### (1) 連携事業の修正

① 各事業の「事業費見込み」を令和 5 年 11 月時点の見込みに、成果指標の「現状値」を令和 5 年 3 月以降の値に更新する。ビジョンの改訂状況は、資料 1-2 のとおり。

各事業の令和 4 年度末時点の実績値、令和 5 年 11 月末時点の実績値は、資料 1-3 のとおり。

② 連携事業の事業概要に変更があるものについて、更新する。

#### 【変更箇所】

ページ	事業名	変更内容
P43、P52	6 次産業化の推進	事業概要について、専門部会の活動終了に伴い、活動の推進体制の変更について追記した。
P64	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業	令和 7 年度以降の費用負担の変更について更新した。

#### (2) 成果指標の修正

#### 【変更内容】

ページ	事業名	変更内容
P46、68	自然災害対策推進事業	目標値（令和 7 年度）を 69,230 食から 71,630 食に変更。 （矢巾町の備蓄計画の変更によるもの）

### 2 今後検討する事業について

「今後検討する事業」として掲載している 8 事業については、資料 1-4 のとおり担当部局間で令和 6 年度も引き続き事業化に向けた検討を行う。

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い事業名及び事業内容を変更した。

#### 【変更内容】

ページ	事業名	変更内容
P48	新しい生活・産業様式に対応するための調査研究事業	新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い事業名及び事業内容を更新した。 <変更後の事業名> 地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業
P78	デジタル化推進調査研究事業	新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い事業内容を更新した。

### 3 改訂スケジュール

日付	内容
令和 6 年 2 月 1 日	盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会において、改訂案に対する意見聴取
令和 6 年 2 月 8 日	盛岡広域首長懇談会において、改訂案を協議
令和 6 年 2 月中旬～下旬	更新確認依頼（構成市町、盛岡市担当課）
令和 6 年 3 月下旬	みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン改訂

本ビジョンにおける進捗管理に用いる成果指標(KPI)は、次のとおりとします。(指標名の後の矢印が「↑」は、数値を上げていくことを目標とするもの。「→」は現状を維持していくことを目標とするもの。「↓」は、数値を下げていくことを目標とするもの。)

### 戦略1 産業の営みをつなぐ(圏域全体の経済成長のけん引)

#### ■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
農林業圏域内総生産額(↑)	3,744千万円 (平成29年)	3,931千万円	県政策地域部「市町村 村民経済計算」
製造品出荷額(↑)	33,440千万円 (平成30年)	35,112千万円	経済産業省「工業統 計調査」
第三次産業の年間売上額(↑)	346,390千万円 (平成28年)	363,710千万円	経済産業省「経済セ ンサス」
圏域内観光客入込数(↑)	977万人回 (平成30年)	1,028万人回	県政策地域部「統計 年鑑」

#### ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
出前講座等の参加企業数(累計) (↑)	13社 (平成31年3月末)	61社	盛岡市

#### イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
起業家塾@もりおか参加者のうち起 業した者の数(累計)(↑)	9人 (令和元年度)	21人	盛岡市
大学との共同研究により開発された 新商品延べ件数(↑)	12件 (令和2年10月末)	16件	盛岡市、滝沢市
圏域市町における誘致企業延べ数 (↑)	7件 (令和2年10月末)	49件	8市町

#### ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
まるごとフェアイベント入場者数 (↑)	4,308人 (令和元年度)	10,100人	盛岡広域商工団体復 興応援観光・物産フ ェア実行委員会
6次産業化の推進へ向けた現地研 修、勉強会等により意見交換した企 業・団体等(個人起業者含む)の延 べ件数(↑)	14件 (令和元年度)	38件	<u>8市町</u>

首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)	9回 (令和2年度)	27回	盛岡市
盛岡手づくり村来場者数(↑)	375,531人 (令和元年度)	410,000人	盛岡市

## エ 戦略的な観光施策

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
圏域内観光客入込数(↑)	968万人回 (令和元年)	1,028万人回	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
圏域内外国人観光客入込数(↑)	238,784人回 (令和元年)	300,000人回	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
MICE開催助成件数(↑)	22件 (令和元年度)	35件/年	(公財)盛岡観光 コンベンション協会
圏域内ロケ支援件数(↑)	63件 (令和元年度)	100件/年	盛岡広域フィルム コミッション
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数(↑)	37,645人 (令和元年度)	40,000人/年	いわて・盛岡広域 観光センター
教育旅行入込客数(学校数)(→)	1,603校 (令和元年度)	1,600校/年	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数(→)	149件 (令和元年度)	149件/年	8市町
盛岡市環境部ウェブサイト『ecoもりおか』内のエコツーリズム該当ページ閲覧件数(↑)	0件 (令和3年12月末)	100件/年	盛岡市

## 戦略2 人の流れをつなぐ(高次の都市機能の集積・強化)

### ■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
盛岡バスセンターからのバス発着便数(→)	1,515便 (令和元年度)	1,515便	盛岡バスセンター 発着バス時刻表

## ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
盛岡バスセンターからのバス発着便数(→)(再掲)	1,515便 (令和元年度)	1,515便	盛岡バスセンター 発着バス時刻表
津志田白沢線の整備予定区間(第1工区)内の供用延長距離(↑)	0m (令和元年度)	300m	盛岡市

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道（北側）の供用延長距離（↑）	0m (令和元年度)	435m	盛岡市

### 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

#### ■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
圏域全体の生活関連機能サービスの向上にかかる連携事業数（都市圏ビジョンの実施事業数）（↑）	23事業 (令和3年)	26事業	盛岡広域首長懇談会

#### ア 生活機能の強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）	4件 (令和元年度)	5件	盛岡地区第二次救急医療対策委員会
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）	11件 (令和元年度)	12件	盛岡地区第二次救急医療対策委員会
盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム登録延べ件数（↑）	805件 (令和元年度)	1,765件	各警察署
盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合（↑）	74.2% (令和2年3月末)	77.4%	8市町
配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）	1,111件 (令和元年度)	1,100件	盛岡市
人権出前講座受講者数（→）	659人 (令和元年度)	700人	盛岡市
人権出前講座回数（広域7市町）（→）	4回 (令和元年度)	4回	盛岡市
盛岡広域成年後見センターにおける年間延べ相談件数（↑）	566件/年 (令和元年度)	1,168件/年	盛岡市
市民後見人養成講座修了者数（累計）（↑）	147人 (令和元年度)	274人	盛岡市
障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）	5,251件 (令和元年度)	5,200件/年	8市町
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）	4,248件 (令和元年度)	4,803件/年	8市町
スポーツパル会員数（↑）	527人 (平成30年12月末)	10,000人	8市町

もりおか就職面談会への参加者(↑)	305人 (平成29年度)	310人/年	盛岡市
ジョブカフェいわての利用者数(→)	58,171人 (令和元年度)	55,000人/年	ジョブカフェいわて
もりおか若者サポートステーションに新規登録した者のうち就職決定したものの割合(↑)	58.8% (令和元年度)	58.8%	もりおか若者サポートステーション
災害用非常食糧の備蓄数(↑)	59,370食 (令和2年3月末)	71,630食	8市町
東日本大震災周年行事の参加者数(→)	2,600人 (平成30年3月)	2,600人 (令和6年度)	盛岡広域首長懇談会
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数(→)	64人 (令和元年度)	50人/年	南岩手山岳遭難対策委員会事務局
岩手県央へい獣処理施設利用頭数(→)	825頭 (令和元年度)	825頭	新岩手農業協同組合
有害捕獲に係る研修受講者数(↑)	25人 (令和2年度)	30人	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会

#### イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
インターンシップへの参加事業者数(↑)	55企業 (令和元年度)	120企業	8市町
移住ツアーの延べ参加者(↑)	- (令和元年度)	100人	盛岡市
圏域の消費生活相談における解決率(↑)	98.5% (令和元年度)	99.0%	盛岡市
入札参加資格申請の電子化率(↑)	98% (令和元年度)	100%	業務統計

#### ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	8.7% (令和元年度)	9.0%	8市町
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数(↑)	295人 (令和元年度)	332人	国保盛岡地区協議会事務局

## 第4章 具体的取組

本ビジョンに基づき実施する具体的取組は、各市町が実施する事業のうち、連携することにより成果が向上する、あるいはコストの削減が見込まれる等、各市町にメリットがあるもので、連携協約に基づき各市町間で協議を行い定めるものとなります。

### ■ 具体的取組一覧

#### 【戦略1 産業の営みをつなぐ】

産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	
ものづくり人材育成事業	
今後検討する事業	新しい生活・産業様式に対応するための調査研究事業
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
創業支援事業、産学官連携の推進、圏域市町の連携による企業誘致の推進	
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	
盛岡広域まるごとフェア開催事業、6次産業化の推進、盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信、盛岡手づくり村振興事業	
戦略的な観光施策	
広域観光推進事業、国際観光客誘致促進事業、MICEの誘致推進、盛岡広域フィルムコミッション事業、いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業、教育旅行誘致事業、スポーツツーリズム推進事業、エコツーリズムの振興	

#### 【戦略2 人の流れをつなぐ】

高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	
盛岡バスセンター整備事業、幹線道路整備事業（津志田白沢線、市道谷地頭線（厨川工区））	
今後検討する事業	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業、北岩手・北三陸横断道路の整備促進、盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進、一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進

#### 【戦略3 暮らしの安心をつなぐ】

生活機能の強化（地域医療、介護、福祉、教育・文化・スポーツ、地域振興、災害対策、環境）	
盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討、小児救急輪番制病院事業、第二次救急医療対策事業、盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム、保育所の広域入所、配偶者暴力相談支援センター広域連携事業、盛岡広域成年後見センター設置運営事業、障がい者相談支援事業、スポーツパル推進事業、もりおか就職面談会等、若者の就業支援事業、自然災害等対策推進事業、震災対応事業、南岩手山岳遭難対策事業、岩手県央へい獣処理協議会事業、盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業	
結びつきやネットワークの強化（地域内外の住民との交流移住促進、結びつきやネットワークの強化に係る分野）	
インターンシップ事業、盛岡広域移住・定住促進事業、消費者行政の共同実施、電子入札等基盤整備事業	
今後検討する事業	地方創生SDGs推進調査研究事業、デジタル化推進調査研究事業
圏域マネジメント能力の強化（人材の育成、圏域内市町の職員等の交流）	
人材の育成、圏域内市町の職員の交流、国保盛岡地区協議会事業	



# 1 戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

No.	1-1	事業名	ものづくり人材育成事業				
連携市町	全市町						
事業概要	盛岡広域のものづくり人材を育成し、地元定着を促進するため、盛岡広域振興局、広域市町等と連携し、学生を対象にもものづくりをテーマとする出前講座や工場見学、セミナーを開催する。						
見込まれる成果	人材育成に寄与することで、広域圏におけるものづくり事業の推進を図ることができる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	112	137	137	<u>122</u>	<u>122</u>	<u>630</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
出前講座等の参加企業数 (累計) (↑)		13社 (平成31年3月末)	<u>43社</u> <u>(令和5年11月末)</u>		61社		
(出所・出典) 盛岡市							

○今後検討する事業

事業名	事業概要
<u>地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業</u>	<u>人口減少・少子高齢化の進行への対策として、盛岡広域圏の魅力を高める地方創生を推進するため、地方移住、副業、ワークライフバランスの推進や、持続可能な地域経済の維持のための地域のデジタル化に係る取組について調査研究を行う。</u>

イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中核企業等を核とした戦略産業の育成

No.	1 - 2	事業名	創業支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域において、国の認可を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、起業家塾・セミナーの開催や、「創業者向けファンド」の設立などを通じ、新規創業者・起業家へ支援を行う。					
見込まれる成果	圏域内の市町の境を越えて創業支援を受けることができるため、より創業しやすい環境の形成が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	250	400	<u>250</u>	400	400	<u>1,700</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数 (累計) (↑)		9 人 (令和元年度)	<u>21 人</u> (令和5年11月末)	21 人		
(出所・出典) 盛岡市						

No.	1 - 3	事業名	産学官連携の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡市産学官連携研究センター等の活用等により、企業が抱える技術的問題の解決や新製品・新技術の研究開発等を支援する。					
見込まれる成果	他市町の企業が盛岡市産学官連携研究センター等を活用することにより、圏域全体の企業の底上げにつながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	36,210	<u>44,650</u>	<u>48,064</u>	<u>48,046</u>	<u>48,046</u>	<u>225,016</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市産学官連携研究センター等を運営する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市 IPU イノベーションセンターを運営する (滝沢市)。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する (滝沢市)。</li> <li>・各市町の企業と産学官連携研究センター等の施設とのマッチングに向けた調整を行う (各市町)。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)		12 件 (令和2年10月末)	<u>13 件</u> (令和5年11月末)	16 件		
(出所・出典) 盛岡市・滝沢市						

No.	1 - 4	事業名	圏域市町の連携による企業誘致の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	首都圏での企業立地セミナーの開催、トップセミナー、在京盛岡広域産業人会の活用による人的ネットワーク化などを行う。					
見込まれる成果	共同企業誘致に係る各市町間の役割分担を明確にすることで、より高い誘致効果が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2,109	2,109	2,109	<u>2,109</u>	<u>2,109</u>	<u>10,545</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内への企業誘致に向けた事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内の企業誘致に向けた事業実施に協力して取り組む。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
圏域市町における誘致企業延べ数(↑)	7 件 (令和2年10月末)	<u>22 件</u> <u>(令和5年3月末)</u>	49 件			
(出所・出典) 全市町						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため、情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

No.	1 - 5	事業名	盛岡広域まるごとフェア開催事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域 8 市町の物産品販売やご当地グルメの販売を通じて、盛岡広域圏の魅力を発信する。					
見込まれる成果	広域 8 市町等の連携により、効率的に地域の魅力を発信できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	<u>438</u>	<u>438</u>	<u>438</u>	<u>1,314</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催する実行委員会との連絡調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和 7 年度）	
まるごとフェアイベント 入場者数(↑)		4,308 人 (令和元年度)	<u>10,855 人</u> <u>(令和 5 年 11 月末)</u>		10,100 人	
(出所・出典) 盛岡広域商工団体「観光・物産フェア」実行委員会						

No.	1 - 6	事業名	6次産業化の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	<p>6次産業化及び地産地消等の推進につなげる取組の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域8市町の6次産業化実践者を訪問し現地研修や、農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報などを意見交換や勉強会等により把握する。</li> <li>・盛岡地方の関係機関（8市町含む）・団体が連携を密にし、農業、農村の振興に寄与することを目的とし、8市町のほか広域振興局などの関係機関・団体との連携を検討する。</li> <li>・盛岡市が令和2年3月に策定した「盛岡産農畜産物の輸出促進に向けた基本方針」に基づき、各市町の農畜産物の強みを結集し、輸出品目の拡大など、継続的・安定的な輸出に向けた取組を推進する。</li> </ul> <p><u>・令和5年12月以降は、盛岡地方農業農村振興協議会において、事業を実施する。</u></p>					
見込まれる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の食と農の推進だけでなく、8市町連携によるスケールメリットを発揮した圏域の食と農の取組を進めることができる。</li> <li>・圏域としての食と農の魅力を購買者に伝えることにより、圏域の農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化に寄与する。</li> <li>・8市町の連携により、生産量（輸出口数）の確保や輸出品目（特産品）の拡大を図ることが可能となり、相手国への訴求力向上による輸出促進が期待できる。</li> <li>・8市町のほか広域振興局やJAなどの関係機関・団体との協力体制を確保することで、更なる6次産業化、地産地消及び輸出の取組に関する検討の進展が見込まれる。</li> </ul>					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動を支援するとともに、広域的な調整を行う。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動に協力して取り組む。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）			
6次産業化の推進へ向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等（個人起業者含む）の延べ件数（↑）	14件 (令和元年度)	<u>28件</u> (令和5年11月末)	38件			
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会						

No.	1 - 7	事業名	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡手づくり村が、圏域産品の販売や観光情報の発信等を行う。					
見込まれる成果	盛岡手づくり村が広域の一体的な販売促進や情報発信等を行うことにより、地場産業の振興及び地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	500	500	1,265	0	0	<u>2,265</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値 (令和7年度)	
首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数 (↑)		9回 (令和2年度)	<u>14回</u> (令和5年11月末)		27回	
(出所・出典) 盛岡市						

No.	1 - 8	事業名	盛岡手づくり村振興事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡手づくり村を良好な状態に維持管理し、来場者の便宜向上を含め、安全な施設運営を図るとともに、(公財)盛岡地域地場産業振興センターの事業支援を通じて、盛岡広域圏の地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。					
見込まれる成果	盛岡広域の地場産業の拠点であることが再認識され、地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	44,019	45,000	45,000	45,000	45,000	224,019
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値 (令和7年度)	
盛岡手づくり村来場者数 (↑)		375,531人 (令和元年度)	<u>246,472人</u> (令和5年11月末)		410,000人	
(出所・出典) 盛岡市						

エ 戦略的な観光施策

No.	1 - 9	事業名	広域観光推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	<p>誘客促進とエリアの観光振興に向け、盛岡・八幡平広域観光推進協議会及び盛岡広域元気まるごと発信事業実行委員会など広域観光団体の取組と連動した観光PRの実施、自然景観、伝統芸能、食、温泉など圏域の魅力の情報発信などを行うほか、県や振興局等が実施する広域観光キャンペーンに参加するなど、各市町が連携して広域観光の推進を図る。</p> <p>※本事業において、下記事業を集約して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ、健康、産業など特定のテーマと観光を組み合わせたニューツーリズムについて、新たな観光需要を期待できる体験メニューの企画開発やモデルコースの検討。</li> <li>・公共交通拠点を起点とした圏域市町を結ぶ2次交通の整備に向け、広域観光の取組やサービス向上の仕組みづくりなどの調査研究</li> <li>・交流人口の増加を目指して、圏域の魅力の効果的な情報発信により、新たな観光需要の掘り起こし</li> </ul>					
見込まれる成果	圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	0	5,897	8,397	8,397	8,397	31,088
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
圏域内観光客入込数 (↑)	968 万人回 (令和元年)	541 万人回 (令和5年3月末)	1,028 万人回			
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1-10	事業名	国際観光客誘致促進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県や関係市町などとの連携により、インバウンドの誘客促進を図るため、国際旅行展等への参加によるプロモーションを実施するほか、新たな市場開拓に向けた海外プロモーション活動の強化を図る。また、海外からの観光客誘致に向けた取組を進めるとともに、観光案内表示や観光ホームページ等の多言語化、Wi-Fi 通信環境整備の改善、浴衣や温泉、日本文化や和食などのメニューづくり、食事・買い物、各種体験などの仕組みづくり等、外国人観光客受入環境の整備を推進する。					
見込まれる成果	圏域内の外国人観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,645	<u>64,726</u>	<u>48,501</u>	<u>7,880</u>	<u>7,880</u>	<u>130,632</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
圏域内外国人観光客入込数 (↑)	238,784 人回 (令和元年)	<u>11,013 人回</u> (令和5年3月末)	300,000 人回			
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1-11	事業名	M I C E の誘致推進			
連携市町	全市町					
事業概要	M I C E 開催支援制度を創設し、誘致活動を推進する。					
見込まれる成果	M I C E 誘致を推進するとともに、エクスカージョンを圏域で行うことによる波及効果で、圏域内の交流人口の増加と観光振興につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	500	<u>14,950</u>	<u>20,100</u>	<u>25,100</u>	<u>25,100</u>	<u>85,750</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M I C E 開催助成を通じ、M I C E 誘致の推進と広域観光の P R を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクスカージョンの提供とM I C E 誘致に係る P R 活動の連携を図る。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
M I C E 開催助成件数 (↑)	22 件 (令和元年度)	<u>15 件</u> (令和5年3月末)	35 件/年			
(出所・出典) (公財) 盛岡観光コンベンション協会						



No.	1-12	事業名	盛岡広域フィルムコミッション事業			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域市町の連携により、ロケーションの誘致やロケーションに関する情報収集と情報・相談・斡旋等の支援を行う。					
見込まれる成果	圏域が有している魅力を、映画やテレビ等の映像を通じて広く紹介することにより、地域の知名度やイメージが向上し、観光客の増加や交流による地域活性化が見込まれる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	1,258	1,258	1,258	1,258	1,258	6,290
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
圏域内ロケ支援件数(↑)		63件 (令和元年度)	<u>33件</u> (令和5年3月末)	100件/年		
(出所・出典) 盛岡広域フィルムコミッション						

No.	1-13	事業名	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県内・圏域の観光拠点である盛岡市・中心市街地のまちなか観光を推進し、圏域エリア内への周遊を促すため、広域の観光資源の情報発信や誘客宣伝活動などを行う。					
見込まれる成果	圏域で連携することにより、観光資源の情報発信や誘客宣伝が効果的に行われ、圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	34,300
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。</li> <li>事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数(↑)		37,645人 (令和元年度)	<u>30,655人</u> (令和5年3月末)	40,000人/年		
(出所・出典) (公財) いわて・盛岡広域観光センター						

No.	1-14	事業名	教育旅行誘致事業			
連携市町	全市町					
事業概要	北陸新幹線・北海道新幹線開業を踏まえ、幅広い地域からの岩手・盛岡への来訪に対応するため、修学旅行ガイドブックの作成や関係団体などとの連携による教育旅行の誘致活動の強化と受入態勢の充実を図る。					
見込まれる成果	県内外からの修学旅行入込数が増加するほか、修学旅行で訪れた生徒・児童が将来的にリピーターへとつながる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	931	<u>1,635</u>	<u>1,569</u>	<u>1,820</u>	<u>1,820</u>	<u>7,775</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
教育旅行入込客数(学校数)(→)		1,603校 (令和元年)	<u>2,132校</u> (令和5年3月末)	1,600校/年		
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1-15	事業名	スポーツツーリズム推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域連携組織の盛岡広域スポーツコミッションにおいて、基本的施策としてスポーツによる交流人口の拡大、地域スポーツの推進、東京オリ・パラなどメガスポーツイベントへの取組を掲げ、スポーツ大会・合宿の誘致等の事業に取り組む。					
見込まれる成果	スポーツツーリズムの取組を通じて、盛岡広域圏の魅力の発信や賑わいの創出を図る。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	17,749	1,951	<u>1,570</u>	<u>1,842</u>	1,930	<u>25,042</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携によるスポーツ推進体制の在り方の調査・研究に取り組むとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究に参加するとともに、広域連携によるスポーツ推進に関して各市町の関係者・関係団体に対して働きかけを行うなど、事業実施に協力して取り組む。</li> <li>・地域スポーツ競技の広域的普及のための事業を実施する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数(→)		149件 (令和元年度)	<u>128件</u> (令和5年11月末)	149件/年		
(出所・出典) 8市町						

No.	1-16	事業名	エコツーリズムの振興			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域における再生可能エネルギー施設の視察・見学について、盛岡市環境部ホームページ「eco もりおか」で情報発信を行うとともに、効果的なエコツーリズムの推進に向けた手法の検討を行う。					
見込まれる成果	多様な再生可能エネルギー施設を一元的に情報発信することにより、視察者や見学者のニーズに合わせたエコツーリズムを実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツーリズムの振興に向けた事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・情報発信の基盤となるホームページを運営する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツーリズムの振興に向けた事業に協力して取り組む。</li> <li>・各市町公式ホームページにおいて、情報発信を行う。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
盛岡市環境部ウェブサイト『eco もりおか』内のエコツーリズム該当ページ閲覧件数 (↑)	0 件 (令和3年12月末)	0 件 <u>(令和5年11月末)</u>	100 件/年			
(出所・出典) 盛岡市						

## 2 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

### ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

No.	2-1	事業名	盛岡バスセンター整備事業				
連携市町	全市町						
事業概要	<p>圏域内外のバス交通アクセス拠点である盛岡バスセンターは、令和4年度秋までの開業を目指し、令和3年度は開業後の施設の活用方法等について協議・検討を行った。</p> <p>令和4年10月4日に開業した盛岡バスセンターの待合室に盛岡・八幡平広域観光推進協議会構成市町村（広域8市町、宮古市、岩泉町、秋田県鹿角市及び小坂町）の観光パンフレットを配架し、バスセンター利用者に必要とされる情報発信機能の充実を図った。</p>						
見込まれる成果	広域バス交通の拠点である盛岡バスセンターが整備されることにより、圏域内の交通サービスの維持・強化が図られる。また、バスセンター内に設けるサービス施設の整備により、圏域内の観光・物産・交流の情報発信機能などの充実が図られる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	19,950	9,977	-	-	-	29,927	
役割分担 費用負担	盛岡市	・バスセンターにバス待合室、屋上広場、ラウンジ等の情報発信やイベント等に活用できる機能を整備し、広域8市町の魅力を発信する方法等を各市町と検討する。					
	連携市町	・バス待合室等のサービス施設の整備を検討する際に、具体的な施設の活用方法について盛岡市と協議する。					
成果指標	成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）		
盛岡バスセンターからのバス発着便数（→）	1,515便 (令和元年度)		1,372便 (令和5年3月末)		1,515便		
(出所・出典) 盛岡バスセンター発着バス時刻表							

No.	2-2	事業名	幹線道路整備事業（津志田白沢線）				
連携市町	盛岡市、矢巾町						
事業概要	盛岡市と矢巾町をつなぐ幹線道路の整備を行う。						
見込まれる成果	周辺には都南図書館、都南文化会館や都南中央公園等公共施設が集中しているため、本路線の整備により当該地域の安全で円滑な交通の確保と周辺の都市計画道路等との有機的な連絡による地域間交流・連携の機能向上を図るものである。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	76,106	84,071	104,571	205,690	92,000	562,438	
役割分担 費用負担	盛岡市	・事業区間2,160mのうち、盛岡市域約2,090mの整備を行う。					
	連携市町	・事業区間のうち、矢巾町域約70mの整備を行う。					
成果指標	成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）		
津志田白沢線の整備予定区間（第1工区）内の供用延長距離（↑）	0m (令和元年度)		150m (令和5年11月末)		300m		
(出所・出典) 盛岡市							

No.	2 - 3	事業名	幹線道路整備事業（市道谷地頭線外1路線（厨川工区））				
連携市町	盛岡市、滝沢市						
事業概要	盛岡市と滝沢市をつなぐ幹線道路の整備を行う。						
見込まれる成果	地域間交流や医療、産業振興、防災などのネットワーク強化を図ることができる。						
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	152	<u>51,301</u>	<u>243,935</u>	<u>279,210</u>	347,000	<u>921,598</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未整備区間 990m の整備を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備完了区間の維持管理を行う。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）			
市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道（北側）の供用延長距離（↑）		0 m （令和元年度）	0 m <u>（令和5年11月末）</u>	435m			
（出所・出典）盛岡市							

○今後検討する事業

事業名	事業概要
広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	人口減少社会においても公共交通網を維持しつづける観点から、利便性の向上を図り以て利用者確保のため、交通系 IC カードなどの導入やサービスの共通化、電子決済データと車両運行管理データを統合した情報分析による運行経路やダイヤの最適化、異なる公共交通間の乗り継ぎの改善など、MaaS 基盤の整備を見据えた調査研究を行う。
北岩手・北三陸横断道路の整備促進	盛岡市以北において、内陸部と三陸沿岸北部を結ぶ路線は、線形不良や隘路区間のほか、急勾配・急カーブが連続する交通の難所であり、移動に多くの時間を要する状況にある。盛岡以北の市町村には、農林水産物など魅力ある地域資源が数多くあるほか、災害時の後方支援拠点に指定されていることなどから、観光や災害対策の面など多分野において地域間連携を加速させ、地方創生や人口減少対策に寄与するため、北岩手・北三陸を横断する「（仮称）久慈内陸道路」の整備促進に向けた要望活動を行う。
盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパス北バイパスは、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、2 環状 6 放射の骨格道路網の重要な幹線道路として位置づけられており、国道 46 号西廻りバイパスの 4 車線化も進んでいる。盛岡西廻りバイパス北バイパスの早期整備は、盛岡広域圏における主要幹線である主要地方道盛岡環状線や国道 4 号盛岡バイパスの渋滞緩和にも繋がり様々な盛岡広域圏のネットワークの強化を図ることができることから、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携した取組を進める。
一般国道 4 号「盛岡南道路」の整備促進	一般国道 4 号「盛岡南道路」は、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、重要な幹線道路に位置づけられている。交通ネットワークの充実により、人やモノの流れの活発化や地域資源や機能の相互利用が見込まれることから、各市町を結ぶ道路ネットワークを形成するため、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携し、整備促進に向けた取組を進める。

### 3 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

#### ア 生活機能の強化に係る政策分野

##### (7) 地域医療

No.	3-1	事業名	盛岡保健医療圏における救急医療体制に関する検討				
連携市町	全市町						
事業概要	岩手医科大学附属病院移転後の救急医療体制の確保等について、広域市町や医大等の関係機関と検討する。						
見込まれる成果	医大附属病院の移転により、これらの患者が他の救急医療機関へ集中し重症患者の診療に支障をきたさないようにするため、盛岡保健医療圏全体の救急医療体制を整備する。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	0	0	0	0	0	0	
役割分担 費用負担	盛岡市	・医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討や盛岡保健医療圏としての情報共有や統一した意見の集約において広域的な調整を行う。					
	連携市町	・医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討に協力して取り組む。					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）		4件 （令和元年度）	4件 <u>（令和5年11月末）</u>		5件		
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）		11件 （令和元年度）	11件 <u>（令和5年11月末）</u>		12件		
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会							

No.	3-2	事業名	小児救急輪番制病院事業				
連携市町	全市町						
事業概要	休日・夜間等に入院加療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院に対し、運営費を補助する。また、公的病院等に対して特別交付税措置制度を活用し、運営費補助を実施する。						
見込まれる成果	休日・夜間において、圏域の小児重症患者に救急医療を提供する。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	18,963	19,355	<u>19,616</u>	<u>22,620</u>	<u>22,620</u>	<u>103,174</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	・小児救急医療事業に関する運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏8市町の事務局的役割を担う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・小児救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）		4件 （令和元年度）	4件 <u>（令和5年11月末）</u>		5件		
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会							

No.	3 - 3	事業名	第二次救急医療対策事業				
連携市町	全市町						
事業概要	盛岡地区二次救急医療事業に要する経費の一部を広域各市町で負担し、盛岡市が取りまとめ補助金として交付する。						
見込まれる成果	休日・夜間の二次救急輪番制病院群を支援し、圏域の二次救急医療体制を確保する。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	28,317	21,155	30,942	43,378	43,378	167,170	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和 7 年度)			
盛岡保健医療圏における当番病院の数 (第二次) (↑)		11 件 (令和元年度)	11 件 <u>(令和 5 年 11 月末)</u>	12 件			
(出所・出典) 盛岡地区二次救急医療対策委員会							

(イ) 介護

No.	3 - 4	事業名	盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム				
連携市町	全市町						
事業概要	警察署等の関係機関との連携を強化し、徘徊高齢者の住所不明事案の手配及び発見・保護、システムの周知と早期発見の指導を行う。また、住所不明事案発生時の情報共有を行う。						
見込まれる成果	SOS ネットワークシステム登録件数及び履物用ステッカーの交付件数が増加し、徘徊高齢者の速やかな発見につなげることができる。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	630	0	660	0	553	1,843	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履物用ステッカーの購入数の取りまとめを行う。</li> <li>・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和 7 年度)			
盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム登録延べ件数 (↑)		805 件 (令和元年度)	1,219 件 <u>(令和 5 年 3 月末)</u>	1,765 件			
(出所・出典) 各警察署							

## (ウ) 福祉

No.	3 - 5	事業名	保育所の広域入所			
連携市町	全市町					
事業概要	保護者の居住地外での就労や里帰り出産、転出入等の特別な事情により、盛岡広域他市町の保育所等（保育所、認定こども園及び地域型保育事業に係る施設）での保育を必要としている児童の入所を調整・実施する。					
見込まれる成果	保護者の就労環境等の事情に応じて広域入所を希望する児童を適切に保育できる。また、転出入があった場合も、切れ目のない保育の実施が可能となる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	399, 555	<u>396, 555</u>	444, 615	328, 125	328, 125	<u>1, 896, 975</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携市町からの新規・継続入所を受け付ける。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市からの新規・継続入所を受け付ける。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合 (↑)	74.2% (R2 年 3 月末)	<u>74.6%</u> <u>(令和5年3月末)</u>	77.4%			
(出所・出典) 8 市町						



No.	3 - 6	事業名	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業			
連携市町	全市町					
事業概要	配偶者からの暴力防止対策等に向けた連携として、盛岡市配偶者暴力相談支援センターの業務の対象を広域圏へ広げる。現在の相談員1人に、週3日（15時間）の相談員を加え、DV防止に向けた啓発、相談（必要に応じた出張相談）、対応事案に対する相談（スーパーバイザー）等を実施し、広域市町が相互に連携を図りながら協力し取り組む。					
見込まれる成果	対象を圏域全体に拡大することで、住民の安全を確保するとともに、市町職員のDV等被害者対応能力の向上を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	<u>4,347</u>	4,321	4,321	<u>4,321</u>	<u>4,321</u>	<u>21,631</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配偶者暴力相談支援センターの運営や相談員の確保等、圏域における配偶者等からの暴力防止対策事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張DV相談の実施や緊急避難時の移送等の協力等、事業実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。<u>（令和7年度以降の費用負担について協議を行う。）</u></li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）			
配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）	1,111件 （令和元年度）	<u>822件</u> <u>（令和5年3月末）</u>	1,100件			
人権出前講座受講者数（→）	659人 （令和元年度）	<u>598人</u> <u>（令和5年11月末）</u>	700人			
人権出前講座回数（広域7市町）（→）	4回 （令和元年度）	<u>1回</u> <u>（令和5年11月末）</u>	4回			
（出所・出典）8市町						

No.	3 - 7	事業名	盛岡広域成年後見センター設置運営事業			
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、岩手町					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度は、認知症高齢者や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の権利を守り生活を支える重要な仕組みであるが、制度利用は十分でない状況にあることから、成年後見に関する相談から利用までの一貫した支援を行うため、盛岡広域6市町で成年後見センターを共同設置し、次の事業を行う。</li> <li>・広報・啓発、相談対応、申立支援、市民後見人養成、成年後見人等活動支援、受任者調整、関係機関等との連携調整</li> </ul>					
見込まれる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者等の財産管理、身上保護を成年後見人等が適切に行うことになり、権利擁護が図られる。</li> <li>・成年後見人等の担い手不足が解消し、必要とする人が成年後見制度を利用できるようになる。</li> </ul>					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	25,105	<u>30,431</u>	<u>33,162</u>	<u>33,014</u>	<u>33,014</u>	<u>154,726</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹事市として受託者との委託契約を締結する。</li> <li>・運営委員会を開催し、センターの適正な運営を図る。</li> <li>・センターの周知啓発を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会に出席し、センターの適正な運営を図る。</li> <li>・センターの周知啓発を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数 (↑)	566 件/年 (令和元年度)	<u>1,372 件/年</u> (令和5年3月末)	1,168 件/年			
市民後見人養成講座修了者数 (累計) (↑)	147 人 (令和元年度)	<u>240 人</u> (令和5年11月末)	274 人			
(出所・出典) 盛岡広域成年後見センター、6市町の地域包括支援センター						

No.	3-8	事業名	障がい者相談支援事業				
連携市町	全市町						
事業概要	在宅福祉等を担当する相談支援専門員を配置し、在宅の障がい児（者）及び保護者等に対し、家庭訪問等により相談等に応じて助言等を行う。						
見込まれる成果	障がい者の日常生活における利便性・快適性の向上とともに、心理的・精神的負担が軽減されることで、生活の安定が図られ、自立した生活を送れるようになる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	41,270	40,820	40,820	40,820	40,820	204,550	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、事業内容に関する協議を開催する等、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に関する協議に参加する等、事業実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）		5,251件 (令和元年度)	5,272件 <u>(令和3年度末)</u>		5,200件/年		
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）		4,248人 (令和元年度)	4,569件 <u>(令和3年度末)</u>		4,803人/年		
(出所・出典) 8市町							

(エ) 教育・文化・スポーツ

No.	3-9	事業名	スポーツパル推進事業				
連携市町	全市町						
事業概要	<p>スポーツに親しみスポーツを支える住民のネットワークをつくり、地域の住民がスポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする取組。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の利用、ボランティア活動に参加することによりポイントを貯めることができ、ポイントに応じてグッズ等と交換できる。メールマガジンによりスポーツ情報の配信を行う。</li> </ul>						
見込まれる成果	圏域住民のスポーツをする、見る、支える活動機会の充実が図られる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	509	485	479	565	509	2,545	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツパル会員への情報発信を行うとともに、スポーツ施設やプロスポーツとの連絡調整を行う。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町のスポーツ情報の提供やスポーツ施設との連絡調整等、事業実施に協力して取り組む。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
スポーツパル会員数（↑）		527人 (平成30年12月末)	3,123人 <u>(令和5年11月末)</u>		10,000人		
(出所・出典) 8市町							

## (オ) 地域振興

No.	3 - 10	事業名	もりおか就職面談会等				
連携市町	全市町						
事業概要	圏域における若年者の地元就職を促進するため、ハローワーク及び盛岡地域雇用開発協会等と連携し、就職面談会の開催や盛岡地域企業ガイドブックの作成など各種事業を実施する。						
見込まれる成果	就職面談会への参加企業を広域圏内の企業に広げ、また各市町が連携して周知広報を行うことにより、就職面談会への参加者の増加が見込まれ、求職者と企業のマッチングが期待できる。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	2,224	2,218	2,224	<u>2,241</u>	<u>2,241</u>	<u>11,148</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用（面談会場使用料・盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用（盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）			
もりおか就職面談会面談会への参加者数（↑）		305 人 （平成 29 年度）	<u>61 人</u> <u>（令和 5 年 3 月末）</u>	310 人/年			
（出所・出典）盛岡市							

No.	3 - 11	事業名	若者の就業支援事業				
連携市町	全市町						
事業概要	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」との連携や、高校生スキルアップ支援事業や新社会人就職定着支援事業等の実施により、若者の地元企業等への定着支援を行う。						
見込まれる成果	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」といった若者の就業を支援する機関の利用者が増加し、地元企業への就職・定着が図られる。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	13,814	19,265	<u>20,683</u>	<u>27,588</u>	<u>14,590</u>	<u>95,940</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。</li> </ul>					
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）			
ジョブカフェいわての利用者数（→）		58,171 人 （令和元年度）	<u>97,444 人</u> <u>（令和 5 年 3 月末）</u>	55,000 人/年			
もりおか若者サポートステーションに新規登録した者のうち就職決定したものの割合（↑）		58.8% （令和元年度）	<u>70.7%</u> <u>（令和 5 年 3 月末）</u>	58.8%			
（出所・出典）もりおか若者サポートステーション							

## (カ) 災害対策

No.	3 - 12	事業名	自然災害等対策推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域災害等の発生を想定し、圏域市町で連携した減災・防災体制の連携強化を図る。					
見込まれる成果	広域災害発生時等における圏域市町の連携・協力体制を構築することにより、住民の安全・安心の確保と地域防災力の強化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>16,644</u>	<u>66,969</u>	<u>12,602</u>	<u>10,942</u>	<u>11,252</u>	<u>118,409</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町における取組状況の報告等、本事業の実施に協力して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
災害用非常食糧の備蓄数 (↑)		59,370 食 (令和2年3月末)	<u>70,603 食</u> (令和5年3月末)	<u>71,630 食</u>		
(出所・出典) 8市町						

No.	3 - 13	事業名	震災対応事業			
連携市町	全市町					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災周年行事 東日本大震災の発災日である3月11日に、地域住民とともに犠牲となった方々の冥福を祈り、復興への誓いを新たにするための行事を開催する。</li> </ul>					
見込まれる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災周年行事 追悼式や地域住民が自由に参加できる灯籠イベントを開催することにより、震災の記憶の風化防止に寄与することが期待される。</li> </ul>					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,130	1,260	1,260	1,260	-	4,910
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画総括や事業実施に係る調整及び取りまとめ、関係機関・団体との各種調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周年行事用の灯籠作成に係る地域内の小学校等への依頼等を行う。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和6年度)		
東日本大震災周年行事の参加者数 (→)		2,600 人 (平成30年3月)	<u>1,800 人</u> (令和5年3月末)	2,600 人		
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会						

No.	3 - 14	事業名	南岩手山岳遭難対策事業			
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町					
事業概要	岩手山を中心とする山岳における遭難事故の防止、遭難者の捜索及び救助を目的とし、遭難事故等を想定した合同訓練を実施する。					
見込まれる成果	岩手山を中心とする山岳での遭難事故発生時等における遭難救助を迅速、効果的に実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	600	600	600	600	600	3,000
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の事業・活動に連携して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の事業・活動に連携して取り組む。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数 (→)		64 人 (令和元年度)	<u>73 人</u> (令和5年3月末)	50 人/年		
(出所・出典) 南岩手山岳遭難対策委員会事務局						

(キ) 環境

No.	3 - 15	事業名	岩手県央へい獣処理協議会事業			
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町					
事業概要	<p>岩手県央へい獣処理協議会は、環境保全及び家畜防疫上重要である死亡家畜の適正処理に取り組むため、<u>盛岡市をはじめとした5市町管内の死亡家畜(牛・馬)を適正に処理するための一時保管施設として</u>、行政機関、農業協同組合、民間事業者で設立されたものである。</p> <p>死亡した家畜の処理については、「化製場等に関する法律」に基づき適正に処理することとなっているが、処理施設に運搬するまでの中間保冷施設として運用し、適正な死亡家畜の処理を行うためのものである。</p> <p>【協議会構成団体】盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、新岩手農業協同組合、岩手中央酪農業協同組合、岩手花平農業協同組合、岩手中央農業協同組合、小岩井農牧株式会社</p>					
見込まれる成果	環境保全及び家畜防疫のため、5市町管内の死亡家畜を適正処理することにより、管内の畜産農家の健全経営に寄与する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,150	1,500	1,500	1,500	1,500	7,150
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会における、施設の運営・管理についての、情報共有、意見交換を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会において、施設の運営・管理についての、情報共有、意見交換を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
岩手県央へい獣処理施設施設利用頭数 (→)		825 頭 (令和元年度)	<u>781 頭</u> (令和5年3月末)	825 頭		
(出所・出典) 岩手県央へい獣処理協議会						

No.	3 - 16	事業名	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業				
連携市町	全市町						
事業概要	盛岡広域における、野生鳥獣による農作物被害金額は年々増加傾向にあり、有害鳥獣被害対策は喫緊の課題となっている。野生鳥獣は行政区域を越えて移動することから、連携して有害鳥獣被害対策に取り組むため、平成30年度に盛岡広域8市町で「盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会」を設立し、有害鳥獣捕獲の担い手を育成するため矢巾総合射撃場の整備を当該協議会が事業主体となり行った。今後も、8市町が連携し、被害状況や対策について情報共有や被害防止のための研修会の開催により、現場技術指導者の育成を行うとともに、ジビエ肉処理加工施設整備や、捕獲個体の適正な処理等の有害鳥獣対策を検討するものである。						
見込まれる成果	盛岡広域で有害鳥獣対策に取り組むことにより、農作物被害の減少が図られる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	80	57	38	38	38	315	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域8市町の連携による有害鳥獣対策活動。</li> <li>・被害状況や対策についての情報共有。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域8市町の連携による有害鳥獣対策活動。</li> <li>・被害状況や対策についての情報共有。</li> <li>・盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会の事務局を担当する。(矢巾町)</li> </ul>					
成果指標	成果指標設定時値		現状値	目標値(令和7年度)			
有害捕獲に係る研修受講者数(↑)	25人 (令和2年度)		32人 (令和5年3月末)	30人			
(出所・出典) 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会							

## イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### (7) 地域内外の住民との交流・移住促進

No.	3 - 17	事業名	インターンシップ事業				
連携市町	全市町						
事業概要	就職を目指す高校生の地元定着を図るために、インターンシップを受け入れる事業所を開拓し、実習を希望する高校生とのマッチングを行う。						
見込まれる成果	圏域全体で受入れ企業を開拓し、実習の受入体勢を整備することにより、高校生に多くの業種や地元企業の周知ができ、県内に就職する高校卒業者の増が見込まれる。						
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計	
	14	4	15	4	4	41	
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に協力して取り組む。(実習を受け入れる企業の開拓、管内の高校への周知等)</li> </ul>					
成果指標	成果指標設定時値		現状値	目標値(令和7年度)			
インターンシップへの参加事業者数(↑)	55企業 (令和元年度)		65企業 (令和5年11月末)	120企業			
(出所・出典) 8市町							

No.	3 - 18	事業名	盛岡広域移住・定住促進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	地方創生における人口減少対策のうち、各市町に共通する課題と考えられる「首都圏からの移住促進」について、盛岡広域振興局と連携しながら、盛岡広域圏が一体となり取り組むため、情報発信、移住ツアー、移住相談など受入体制の充実を図る。(事業の実施内容を踏まえて令和5年度に事業の見直しを行う。)					
見込まれる成果	移住促進について、各市町が強みを活かしながら盛岡広域圏としての一体的に取り組むことで、より良いイメージを形成することが可能となり、首都圏在住者に対する訴求力の向上に資する。また移住希望者にとって選択の幅も広がり、他都市との差別化を図ることが可能となるほか、各市町における情報発信や相談支援などの効果的な事業展開に寄与する。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	2,132	2,530	1,000	-	-	5,060
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に係る事務担当を担うほか、企画・運営を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に合わせ、必要な情報提供や受け入れについて協力を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。(令和6年度以降に検討)</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
移住ツアーの延べ参加者(↑)		- (令和元年度)	<u>139人</u> (令和5年11月末)	100人		
(出所・出典) 8市町						

(ウ) 上記に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野

No.	3 - 19	事業名	消費者行政の共同実施			
連携市町	全市町					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者行政(消費生活相談、啓発等)の共同実施を円滑に推進する。</li> <li>・共同実施を円滑に実施するための協議を行う。</li> <li>・消費者行政に必要な情報及び知識等を得る研修を行う。</li> </ul>					
見込まれる成果	圏域全体で取り組むことにより、各市町が個別に取り組む場合と比較して効率的かつ合理的に消費者行政の推進が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計
	3,425	3,493	<u>4,035</u>	<u>4,044</u>	<u>4,044</u>	<u>19,041</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市消費生活センターを「盛岡広域消費生活センター」として位置付け、主体的に運営するとともに、広域市町と情報共有しながら連携する。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域消費生活センターとの情報共有などの連携を図る。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値(令和7年度)		
圏域の消費生活相談における解決率(↑)		98.5% (令和元年度)	<u>97.5%</u> (令和5年11月末)	99.0%		
(出所・出典) 盛岡市						



No.	3 - 20	事業名	電子入札等基盤整備事業			
連携市町	全市町					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町で行う競争入札参加資格申請（工事、建設関連業務委託、物品の買入れ等）を広域市町で統一し、受付にあたっては電子化を進めることで、申請者の利便性の向上につなげるほか、広域市町における受付・審査事務の役割分担を明確にすることで、事務の効率化を図る。</li> <li>・電子入札の導入を検討する広域市町に対し、実際の流れや導入効果等の情報共有を行い、電子化を進めることで、さらなる入札事務の効率化を目指す。</li> <li>・上記事業の取組推進に係る定期的な会議開催のほか、入札・契約事務に関する協議や共同研修等の場を設けることにより、入札・契約事務の適正化を図る。</li> </ul>					
見込まれる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加資格申請事業者の大幅な利便の向上（広域ワンストップサービスの提供）</li> <li>・広域市町における競争入札参加資格申請受付及び審査業務の負担軽減</li> <li>・広域市町における入札・契約事務の効率化及び適正化</li> </ul>					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	11,501	4,657	<u>6,525</u>	4,657	<u>6,525</u>	<u>33,865</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡広域 8 市町の契約担当課との意見交換会の事務局機能</li> <li>・入札参加資格申請に係る共通審査事項の審査、盛岡市分に係る個別審査事項の審査、格付け等</li> <li>・システム運用委託等に係る契約・支払事務</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町に係る入札参加資格申請個別審査事項の審査、格付け等</li> <li>・システム運用委託等に係る一部負担</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値		現状値	目標値（令和 7 年度）		
入札参加資格申請の電子化率（↑）	98% (令和元年度)		<u>100%</u> (令和 5 年 11 月末)	100%		
(出所・出典) 業務統計						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
地方創生 SDGs 推進調査研究事業	SDGs 登録・認証等制度により、SDGs に積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い、地域事業者等の認知度向上や人材確保、多様なステークホルダーの連携による自律的好循環の形成を図り、コロナ禍において新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るとともに、地方創生及び SDGs の推進を図る
デジタル化推進調査研究事業	Society5.0 の進行やコロナ禍における行政のデジタル化の推進について、広域で取り組むことが効果的である分野の選定や協同して取り組む手法について調査研究を行う。

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(7) 人材の育成

No.	3 - 21	事業名	人材の育成			
連携市町	全市町					
事業概要	職員研修等を圏域内市町で共有する。					
見込まれる成果	研修等の共有化により、職員間の相互理解が深まるとともに、能力・資質の向上が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
広域他市町の研修に参加した職員の割合 (↑)		8.7% (令和元年度)	<u>8.5%</u> (令和5年10月末)	9.0%		
(出所・出典) 8市町						

(4) 圏域内市町の職員等の交流

No.	3 - 22	事業名	圏域内市町の職員の交流			
連携市町	全市町					
事業概要	新規事業や共同事業などによる個別の人事交流を実施するほか、職員の意識改革や能力・資質の向上が期待できる多様な形態の人事交流の実施可能性を検討し、人材育成の推進を図る。					
見込まれる成果	職員間の相互理解が深まるほか、各市町で行われている人事交流や派遣研修等の取組内容、成果等を検証することにより、行政ニーズに対応し得る人材育成につながることを期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)		
広域他市町の研修に参加した職員の割合 (↑)		8.7% (令和元年度)	<u>8.5%</u> (令和5年10月末)	9.0%		
(出所・出典) 8市町						

No.	3 - 23	事業名	国保盛岡地区協議会事業			
連携市町	全市町					
事業概要	国民健康保険事業に関する情報交換や各種研修会等を、総務部会や保健活動部会などの各部会において実施する。					
見込まれる成果	国民健康保険事業の健全な運営の確保や事務の標準化、国保関係者の資質の向上が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,823	2,427	<u>2,620</u>	818	818	<u>8,506</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業を企画、実施するとともに、広域的な調整を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会が開催する各種事業へ参加するとともに、輪番で担当となる事業の企画運営を行う。</li> <li>・事業実施に要する費用を負担する。</li> </ul>				
成果指標	成果指標設定時値	現状値	目標値 (令和7年度)			
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数 (↑)	295 人 (令和元年度)	<u>301 人</u> (令和5年11月末)	332 人/年			
(出所・出典) 国保盛岡地区協議会事務局						

事業分類	指標名	指標	単位	当初値		令和3年度末	令和4年度末	現状値 (令和5年11月末時点)	目標値(令和7年度)	
				設定時期	値					
戦略1	1-1 1-ア ものづくり人材育成事業	出前講座等の参加企業数(累計)(↑)	↑	社	平成31年3月末	13	31	39	43	61
	1-2 1-イ 創業支援事業	起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数(累計)(↑)	↑	人	令和元年度末	9	12	13	21	21
	1-3 1-イ 産学官連携の推進	大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)	↑	件	令和2年10月末	12	12	13	13	16
	1-4 1-イ 圏域市町の連携による企業誘致の推進	圏域市町における誘致企業延べ数(↑)	↑	件	令和2年10月末	7	17	22	22	49
	1-5 1-ウ 盛岡広域まるごとフェア開催事業	まるごとフェアイベント入場者数(↑)	↑	人	令和元年度末	4,308	0	0	10,855	10,100
	1-6 1-ウ 6次産業化の推進	6次産業化の推進へ向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等(個人起業家含む)の延べ件数(↑)	↑	件	令和元年度末	14	22	28	28	38
	1-7 1-ウ 盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信	首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)	↑	回	令和2年度	9	11	13	14	27
	1-8 1-ウ 盛岡手づくり村振興事業	盛岡手づくり村来場者数(↑)	↑	人	令和元年度末	375,531	162,308	221,192	246,472	410,000
	1-9 1-エ 広域観光推進事業	圏域内観光客入込数(↑)	↑	万人回	令和元年度末	986	458	541	集計中	1,028
	1-10 1-エ 国際観光客誘致促進事業	圏域内外国人観光客入込数(↑)	↑	人回	令和元年度末	238,784	4,612	11,013	集計中	300,000
	1-11 1-エ MICEの誘致推進	MICE開催助成件数(↑)	↑	件	令和元年度末	22	2	15	集計中	35
	1-12 1-エ 盛岡広域フィルムコミッション事業	圏域内ロケ支援件数(↑)	↑	件	令和元年度末	63	33	33	集計中	100
	1-13 1-エ いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業	いわて・盛岡広域観光センター来訪者数(↑)	↑	人	令和元年度末	37,645	15,130	30,655	集計中	40,000
	1-14 1-エ 教育旅行誘致事業	教育旅行入込客数(学校数)(→)	→	校	令和元年度末	1,603	2,122	2,132	集計中	1,600
	1-15 1-エ スポーツツーリズム推進事業	スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数(→)	→	件	令和元年度末	149	24	107	128	149
	1-16 1-エ エコツーリズムの振興	エコツーリズムの振興※該当ページの閲覧件数(↑)	↑	件	令和2年度末	0	0	0	0	100

事業分類	指標名	指標	単位	当初値		令和3年度末	令和4年度末	現況値 (令和5年11月末時点)	目標値(令和7年度)	
				設定時期	値					
戦略2	2-1 2-ア 盛岡バスセンター整備事業	盛岡バスセンターからのバス発着便数(→)	→	便	令和元年度末	1,515	1,466	1,372	集計中	1,515
	2-2 2-ア 幹線道路整備事業(津志田白沢線)	津志田白沢線の整備予定区間(第1工区)内の供用延長距離(↑)	↑	m	令和元年度末	0	150	150	150	300
	2-3 2-ア 幹線道路整備事業(市道谷地頭線外1路線(厨川工区))	市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道(北側)の供用延長距離(↑)	↑	m	令和元年度末	0	0	0	0	435
戦略3	3-1 3-ア 盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討	盛岡保健医療圏における当番病院の数(小児)(↑)	↑	件	令和元年度末	4	4	4	4	5
	3-2 3-3	盛岡保健医療圏における当番病院の数(第二次)(↑)	↑	件	令和元年度末	11	11	11	11	12
	3-4 3-ア 盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム登録延べ件数(↑)	↑	件	令和元年度末	805	1,093	1,219	集計中	1,765
	3-5 3-ア 保育所の広域入所	盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合(↑)	↑	%	令和元年度末	74.2	74.0	74.6	集計中	77.4
	3-6 3-ア 配偶者暴力相談支援センター広域連携事業	配偶者暴力相談支援センターの相談件数(→)	→	件	令和元年度末	1,111	1,015	822	595	1,100
		人権出前講座受講者数(→)	→	人	令和元年度末	659	749	479	598	700
		人権出前講座回数(広域7市町)(→)	→	回	令和元年度末	4	4	1	1	4
	3-7 3-ア 盛岡広域成年後見センター設置運営事業	盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数(↑)	↑	件	令和元年度末	566	1,404	1,372	940	1,168
		市民後見人養成講座修了者数(累計)(↑)	↑	人	令和元年度末	147	201	224	240	274
	3-8 3-ア 障がい者相談支援事業	障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数(→)	→	件	令和元年度末	5,251	5,272	集計中	集計中	5,200
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数(↑)		↑	人	令和元年度末	4,248	4,569	集計中	集計中	4,803	

事業分類	指標名	指標	単位	当初値		令和3年度末	令和4年度末	現状値 (令和5年11月末時点)	目標値(令和7年度)	
				設定時期	値					
戦略3	3-9 3-ア スポーツパル推進事業	スポーツパル会員数(↑)	↑	人	平成30年12月末	527	2,654	3,027	3,123	10,000
	3-10 3-ア もりおか就職面接会等	もりおか就職面談会への参加者数(↑)	↑	人	平成29年度	305	76	61	集計中	310
	3-11 3-ア 若者の就業支援事業	ジョブカフェいわての利用者数(→)	→	人	令和元年度末	58,171	76,051	97,444	集計中	55,000
		もりおか若者サポートステーションに新規登録した盛岡市民のうち就職決定したものの割合(↑)	↑	%	令和元年度末	58.8	55.4	70.7	集計中	58.8
	3-12 3-ア 自然災害等対策推進事業	災害用非常食糧の備蓄数(↑)	↑	食	令和元年度末	59,370	65,527	70,603	69,115	71,630
	3-13 3-ア 震災対応事業	東日本大震災周年行事の参加者数(→)	→	人	平成30年3月末	2,600	1,400	1,800	R6.3実施予定	2,600
	3-14 3-ア 南岩手山岳遭難対策事業	南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数(→)	→	人	令和元年度末	64	30	73	21	50
	3-15 3-ア 岩手県央へい獣処理協議会事業	岩手県央へい獣処理施設施設利用頭数(→)	→	頭	令和元年度末	825	817	781	516	825
	3-16 3-ア 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業	有害捕獲に係る研修受講者数(↑)	↑	人	令和元年度末	25	59	32	23	30
	3-17 3-イ インターンシップ事業	インターンシップへの参加事業者数(↑)	↑	企業	令和元年度末	55	50	58	65	120
	3-18 3-イ 盛岡広域移住・定住促進事業	移住ツアーの延べ参加者(↑)	↑	人	令和元年度末	0	27	85	139	100
	3-19 3-イ 消費者行政の共同実施	圏域の消費生活相談における解決率(↑)	↑	%	令和元年度末	98.5	98.7	97.4	97.5	99
	3-20 3-イ 電子入札等基盤整備事業	入札参加資格申請の電子化率(↑)	↑	%	令和元年度末	98	98.4	99.6	100	100
	3-21 3-ウ 人材の育成	広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	↑	件	令和元年度末	8.7	9	6.9	8.5	9
3-22 3-ウ 国保盛岡地区協議会事業	国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数(↑)	↑	件	令和元年度末	295	37	169	301	332	

	No.	事業名	事業概要	R5検討結果	事業実施判断
戦略1	1-ア	地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業	人口減少・少子高齢化の進行への対策として、盛岡広域圏の魅力を高める地方創生を推進するため、地方移住、副業、ワークライフバランスの推進や、持続可能な地域経済の維持のための地域のデジタル化に係る取組について調査研究を行う。	盛岡広域8市町の担当者と、未来技術の実装において連携して実施することを確認したことから、今後具体的な連携事業について情報交換を実施する。	A:引き続き検討を行う。
	1-イ	国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため、情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。	今後もILCの誘致状況を注視しながら、連携について検討を継続する。	A:引き続き検討を行う。
戦略2	2-ア	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	人口減少社会においても公共交通網を維持しつづける観点から、利便性の向上を図り以て利用者を確保するため、交通系ICカードなどの導入やサービスの共通化、電子決済データと車両運行管理データを統合した情報分析による運行経路やダイヤの最適化、異なる公共交通間の乗り継ぎの改善など、MaaS基盤の整備を見据えた調査研究を行う。	ICカードの導入については、令和5年度も岩手県交通の残りの路線に対する補助を実施し、全ての路線で導入が完了した。(岩手県北自動車及びJRバス東北については導入済み。) 現時点で、電子決済データや車両運行管理データを活用するシステムが構築されていないため、事業者におけるシステム導入状況等を把握しながら、今後もデータ活用による運行改善や割引制度などについて事業者等を交え調査研究を行う。	A:引き続き検討を行う。
	2-ア	北岩手・北三陸横断道路の整備促進	盛岡市以北において、内陸部と三陸沿岸北部を結ぶ路線は、線形不良や隘路区間のほか、急勾配・急カーブが連続する交通の難所であり、移動に多くの時間を要する状況にある。盛岡以北の市町村には、農林水産物など魅力ある地域資源が数多くあるほか、災害時の後方支援拠点に指定されていることなどから、観光や災害対策の面など多分野において地域間連携を加速させ、地方創生や人口減少対策に寄与するため、「北岩手・北三陸横断道路」の整備促進に向けた要望活動を行う。	北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会が主体となり、当該路線の整備促進に向けた要望活動を展開してきたところである。 令和3年6月に「岩手県新広域道路交通ビジョン」「岩手県新広域道路交通計画」が策定され、当該路線は、高規格道路としての役割が期待されるものの、個別路線の調査に着手していない「構想路線」として、「(仮称)久慈内陸道路」の名称で位置付けられたところである。 次の段階となる個別路線の調査及び高規格道路として早期に着工・整備されるよう、今後も継続して要望を行う。	A:引き続き検討を行う。

	No.	事業名	事業概要	R5検討結果	事業実施判断
戦略2	2-ア	盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパス北バイパスは、平成26年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、2環状6放射の骨格道路網の重要な幹線道路として位置づけられており、国道46号西廻りバイパスの4車線化も進んでいる。盛岡西廻りバイパス北バイパスの早期整備は、盛岡広域圏における主要幹線である主要地方道盛岡環状線や国道4号盛岡バイパスの渋滞緩和にも繋がり様々な盛岡広域圏のネットワークの強化を図ることができることから、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携した取組を進める。	国道46号西廻りバイパスについては、国土交通省東北地方整備局から令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(東北ブロック版)」に位置付けられたところであり、今後さらに事業進捗が図られるものと考えているが、2車線供用区間の4車線化の整備促進を継続して要望する。 北進計画については、令和3年度から国が開催している盛岡都市圏道路の勉強会の中でも話題として挙げられているが、現時点では構想路線の段階であり具体的なルートも決まっていないと伺っているところであり、今後も国、県、滝沢市と意見交換を行う。	A:引き続き検討を行う。
	2-ア	一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進	一般国道4号「盛岡南道路」は、平成26年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、重要な幹線道路に位置づけられている。交通ネットワークの充実により、人やモノの流れの活発化や地域資源や機能の相互利用が見込まれることから、各市町を結ぶ道路ネットワークを形成するため、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携し、整備促進に向けた取組を進める。	盛岡南道路については、国において、これまで計画段階評価や都市計画決定を経て、令和4年度に新規事業化され、令和5年度は地質調査及び道路予備設計を実施すると伺っている。盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進について今後も継続して要望を行う。	A:引き続き検討を行う。
戦略3	3-イ	地方創生SDGs推進調査研究事業	SDGs登録・認証等制度により、SDGsに積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い、地域事業者等の認知度向上や人材確保、多様なステークホルダーの連携による自律的好循環の形成を図り、コロナ禍において新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るとともに、地方創生及びSDGsの推進を図る	盛岡市と岩手県立大学との協働研究「盛岡広域地方創生SDGs登録等制度の構築に係る調査研究」の研究結果を踏まえ、事業実施手法等について引き続き検討する。	A:引き続き検討を行う。
	3-イ	デジタル化推進調査研究事業	Society5.0の進行における行政のデジタル化の推進について、広域で取り組むことが効果的である分野の選定や協同して取り組む手法について調査研究を行う。	盛岡広域8市町の担当者と、未来技術の実装において連携して実施することを確認したことから、今後具体的な連携事業について情報交換を実施する。	A:引き続き検討を行う。



No.	委員名	分野等 (担当部会等)	意見等	回答	各市町の関連する取組状況
1	中軽米委員 (八幡平市観光協会)	観光地のデジタル化について (観光振興部会)	観光地のデジタル化は、八幡平市でほとんど進んでいない。電子決済や電子署名も使うことができないので、具体策ではないが、広域で取り組めるのであればありがたい。	観光地のデジタル化について、電子決済等を導入済みの他の自治体の先進事例や圏域内での導入状況などについて研究していく。	【八幡平市】 八幡平市商工会による電子決済導入支援やポイント還元キャンペーン等を行い、市内各事業者への普及や観光客の利用促進に取り組んでいるところである。今後も、国の補助金活用や地域DMOと連携しながら取り組んでいきたい。 【滝沢市】 観光地のデジタル化について、滝沢市では中小企業を中心に電子決済(PayPay等)の環境整備が徐々に進んでいる。令和4年度には、市商工会(市補助金活用)でキャッシュレス決済利用による還元キャンペーンを実施した。その際に、アプリ操作の説明会も開催し、利用率向上にもつながったと思われる。 【雫石町】 観光協会78施設のうちキャッシュレス決済を導入している施設は48施設である(R5.1.14現在・観光協会調べ・クレジット、電子マネー、交通系、QRのうちいずれかを導入している施設) 電子署名については調査していないため不明。 【葛巻町】 道の駅や主要な観光施設である三セク(牧場、ワイン工場、グリーンテージ)は電子決済対応済み。顧客が地元住民中心である個人商店等は未対応。客、経営者ともに高齢であることから必要性を感じていない方々なので、普及は困難。
2	菅原委員 (ファーム菅久)	冬季の観光について (観光振興部会)	雫石町、八幡平市はスキー場があるので、共通割引など冬季の観光に関する連携した取組があるといいかと思う。	冬季の観光に関する連携について、スキー場の共通割引券や、スキー場を有しない自治体とのお得なバックツアー等の導入の可能性について研究していく。	【八幡平市】 令和4年度まで、八幡平市観光イベント実行委員会が主催する八幡平・安比ゆきフェスティバルの一環として、市内各民間スキー場で使える宿泊者向けのお得な共通リフト券バックを設定していた。令和5年度は一部スキー場の協力が得られず実施を断念し、令和6年度以降の実施は未定である。 【滝沢市】 冬季の観光について、滝沢市では相の沢キャンプ場でのキャンプや鞍掛山等でスノーシュー体験、チャグチャグ馬コによる雪上ポート体験等を行っている。広域でイベントや温泉施設等周遊出来るよう施策をお願いする。 【雫石町】 令和2年度～4年度に町事業としてコロナウイルス感染症対策交付金を活用し、3スキー場共通リフト券の発行(割引)を実施した。令和5年度は実施なし。 【葛巻町】 スキー場や温泉がない当町において冬期間は観光オフシーズンとなっている。冬期間の誘客のため、新たな食の特産品とするべく「くずまき鍋」を開発した。飲食の共通クーポンなどであれば連携は可能かと考える。
3	田中委員 (北日本銀行)	公民連携に関する情報提供について (施設共同利用部会)	公共施設の整備については、我々も民間として参画して、効率化やサービスの向上に協力できればと思っている。各市町で検討しているPFI事業の情報提供をしていただければ、我々としても対応しやすく、便利になると思う。	各市町の情報提供のタイミングや事業主旨等も踏まえたうえで、情報提供について検討したい。	もりおかPPPプラットフォーム(盛岡市) ※市の事業の情報提供・案件形成の場として年数回実施
4	中軽米委員 (八幡平市観光協会)	ILC誘致について (地方創生部会)	国際リニアコライダーの件について、最近トーンが下がっているが、観光関係者の間では、必要なものだトーンが上がってきている。もう少し力を入れて取り組んでほしい。	今後検討する事業に「国際リニアコライダー誘致推進事業」を位置付けており、広域において連携して実施すべき事業かどうか、またその内容について今後検討していく。	・機運醸成のための出前講座及びセミナーの開催 ・関係機関との連携及び情報共有の実施 ・関係機関と連携した国への要望活動の実施
5	高橋委員 (ジョブカフェいわて)	ChatGPTの活用について (地方創生部会)	ジョブカフェを利用している就活生が、ChatGPTを使ってエントリーシートを作成し、面接の練習もしている。行政の中でも自治体によって温度差があると思うが、使い方を検証するのにいいテーマかと思う。	ChatGPTをはじめデジタル化に関して、広域で連携することにメリットのある事業かどうかについて個別に検討を行う。	生成AIの業務への活用については、セキュリティ面を考慮した利用環境構築を検討している。
6	田中委員 (北日本銀行)	空き家バンクに関する情報管理について (盛岡市都市計画課)	移住者向けの空き家バンクなどのデータを一元管理していただければ、我々としても対応しやすく、便利になると思う。	住まい探しをされている移住者に、空き家バンク情報を知っていただくことが重要と考えており、引き続き、全国版空き家バンクに登録し、周知に取り組む。 また、一般社団法人岩手県地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部に対し、移住相談時における移住検討者への不動産情報提供協力の要請を行うなど、具体的な連携の推進にも努めていきたい。	現在は、盛岡広域圏を構成する8市町のうち、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町及び矢巾町の6市町が、「全国版空き家・空き地バンク」に登録しており、当該ホームページから、6市町の空き家バンクの物件情報を確認することができる。 また、各市町のホームページでも確認でき、岩手町及び葛巻町は、他市町より物件数も多く、各町独自のホームページで情報提供しております。
7	坂本委員 (岩手県国際交流協会)	外国人の相談窓口について (盛岡市文化国際課)	技能実習生などの増加を受け、一関市では、外国人の支援本部を立ち上げた。新たに在住外国人のための日本語教室を立ち上げるなど生活面の支援をしている。すでに盛岡市でも様々な取組をしているが、外国人の相談窓口を共同で取り組むなどの例もあるのかと思う。	毎年春に開催されている「地域国際化推進会議(県央広域振興圏)」において、各地域における国際交流・多文化共生の取組状況について共有できる機会が設けられていることから、引き続きこの機会を活用して、外国人が増加することによって生じ得る課題の解決に取り組みたい。	【盛岡市】 (公財)盛岡国際交流協会と連携しながら、盛岡市内在住の外国人を対象に多文化共生相談窓口を設置し、通訳業務を通じて市役所内での各種手続きや生活相談に対応している。 (公財)盛岡国際交流協会において、盛岡市内在住の外国人に対して毎月多言語での生活情報発信を行っているほか、専門学校等に出向き、ごみの出し方についてのオリエンテーションを行っている。 【八幡平市】 以前、市国際交流協会が日本語教室を行っていたが、現時点では、取り組んでいない。 【滝沢市】 市内在留外国人は短期(1年以内)の技能実習による滞在が多く、現状では外国人向け相談窓口設置の要望はみられない。 来庁された外国人について日本語でのやり取りが難しい場合、関係機関に協力依頼したり、翻訳ソフトなどを活用しながら対応している。 【雫石町】 外国人相談窓口は設置していないが、雫石町国際交流協会において、技能実習生の受け入れ企業と連携して日本語教室を実施している。 【葛巻町】 葛巻町における在住外国人の人数は令和5年11月末時点で28人と少なく、相談窓口を設置するほどの需要が見込めないため、特段対応はしていない。 【岩手町】 岩手町では外国人相談窓口に関する取り組みは行ってない。 【紫波町】 外国人が、生活に関わる様々な事柄について、相談や各種申請手続きなどのために窓口を訪れた際に、円滑なコミュニケーションを行うため、令和5年度より、出入国在留管理庁が実施する「出入国在留管理庁 通訳支援事業」に登録している。 【矢巾町】 、現時点では通訳業務を通じて、役場内での各種手続きや生活相談に対応はしていないが、矢巾町国際交流協会において、矢巾町在住の外国人(技能実習生)に対して、体験型町内外バスツアーを行い、母国語以外の言語である日本語を学び、地域の人々とのコミュニケーションを図る機会を設けており、今後も連携を継続する予定である。